

平成 25 年度再評価対象事業 (事業採択後、一定期間 (5~10年) が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課案)	備考
	晴気川 河川整備交付金 事業 (社会資本 整備総合交付 金: 総合流域防 災事業) 事業主体: 県 事業地: 小城市	流路是正、狭窄部解消を 行い、治水安全度を向上 し、流域の浸水被害の軽 減を図る。 計画流量 100m ³ /s 計画治水安全度 1/2	全体事業費: C=26億円 工期: H15~H34 改修延長: L=2,610m 計画流量: 100m ³ /s 計画治水安全度: 1/2 事業内容: 掘削・築堤 護岸、橋梁5橋、 堰5基、 樋管4基、 サイフォン1基	峰川合流点下流が概ね改 修済みである。 (H24末進捗率 66%) (年平均進捗率 6.6%)	(過去の災害実績) H2.7 浸水戸数 1,393戸 浸水面積 624ha (地域の状況) 上流の小城市内では、宅地 化が進んでいるとともに、 小学校や幼稚園、病院等の 施設が存在する。	最新のデフレーター 及び最新のメッ シュデータに基づ き費用対効果 (B/ C) を算定した。 ・総便益 (一般資産被 害額・農作物被害 額・公共土木施設等 被害額等) B=16,704百万円 ・総費用額 C=3,174百万円 ・現在 (B/C) 5.3	・再生材の積極的 利用 ・建設副産物の有 効利用	事業採択後10 年が経過	平成2年等の洪水 被害を軽減する ために、流路是 正、狭窄部解消を 行い、治水安全度 を向上させ、地域 住民の安心・安全 を確保するため には、当事業の継 続が必要である。	

